

## 二院制についての検討

はじめに - 単一国家における二院制をめぐるジレンマ

「第一院は、第二院と一致するなら無用であり、一致しないなら害悪である」

### 二院制の類型と意義

#### 1 第二院の類型 - 第二院の存在はどのように説明されうるか

##### (1) 国家類型・政治体制からみた類型

- 貴族院型
- 連邦国家型
- 単一国家における第二院

##### (2) 代表原理からみた類型

- 地域代表
- 利益職能代表
- 政治代表

##### (3) 権限からみた類型

- 対等型と非対等型

#### 2 二院制の機能

【参照】A.Lijphart, *Patterns of Democracy*, 1999, p.212, table 11.2

- 強い二院制：対等な権限・異なる構成  
アメリカ、オーストラリア、スイス、ドイツ
- 中間的強度の二院制：対等な権限・似通った議院構成  
イタリア、オランダ、日本
- 中間的強度の二院制：不对等な権限・異なる構成  
カナダ、スペイン、フランス
- 弱い二院制：不对等な権限と似通った議院構成  
オーストリア、アイルランド

#### 3 単一国家における二院制 - 独自性と〔民主的〕正当性

- 構成の相違を通じた強い独自性の発揮：〔民主的〕正当性の問題
- 構成の類似：どこまで独自性を発揮しうるか
- 人口規模と二院制

## 二院制の原理と機能 - フランス元老院

- 二院制をめぐる憲法原理：単一不可分の国民主権と代表の多様性
- 「地域代表」としての元老院
- 「地域代表」「熟慮の院」と政治化
- 選挙制度の「民主化」をめぐるジレンマ

## 日本国憲法の二院制と参議院

### 1 日本国憲法における参議院

- 制定の経緯
- 衆議院の優越

### 2 独自性の模索

- 職能代表・地域代表
- 「理性の院」 - 「非党派性」「長期的視野」「統制」
- 衆参の「ねじれ」と独自性：「奇妙な慣行」「国会内閣」
- 「強い参議院」：特別多数の意味、《navette》

### 3 参議院の意味

- 「多角形」の民意：代表原理からみた参議院
- 「一致」と独自性
- 「政党化」と「政党本位」
- 日本における「民意の多様性」
- 院の独自性

### 4 参議院の役割

- 代表の多元化
- 両院の権限配分と統制機能
- 二院制と決算・会計検査制度

むすび - 「両院制」の改正は必要か